

The background of the slide features a faded, grayscale image of modern electronic devices. On the left, a portion of a laptop is visible, showing its keyboard and trackpad. In the center, a tablet is positioned horizontally. To the right of the tablet, a smartphone is shown vertically. The overall aesthetic is clean and tech-oriented.

# 菊陽町DX人材育成方針

令和7年6月  
菊陽町

## Ⅰ 方針策定の趣旨

全国的に人口減少が進み、限られた人員で複雑多様化する行政課題に取り組む中、地方自治体には「自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく」（自治体DX推進計画より抜粋）ことが求められています。

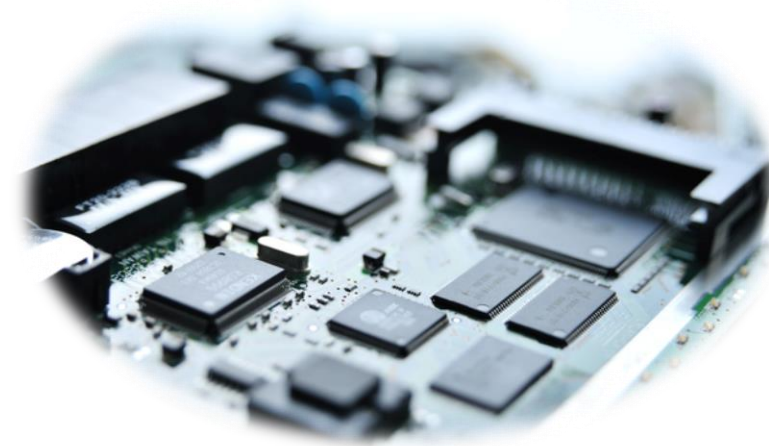
本町においては人口が増加し続け、海外半導体受託製造企業が進出するといった、全国とは異なる傾向の環境にあり、社会全体に対するデジタル化の要請や情報通信技術（ICT）を取り巻く様々な環境変化に伴う町民ニーズに的確に対応していくことは、ますます喫緊の課題となっています。

そこで、本町におけるDX人材の育成を計画的・効率的に推進することを目的として「菊陽町DX人材育成方針」を策定することとしました。

## 2-Ⅰ DX人材の育成により目指す職員像

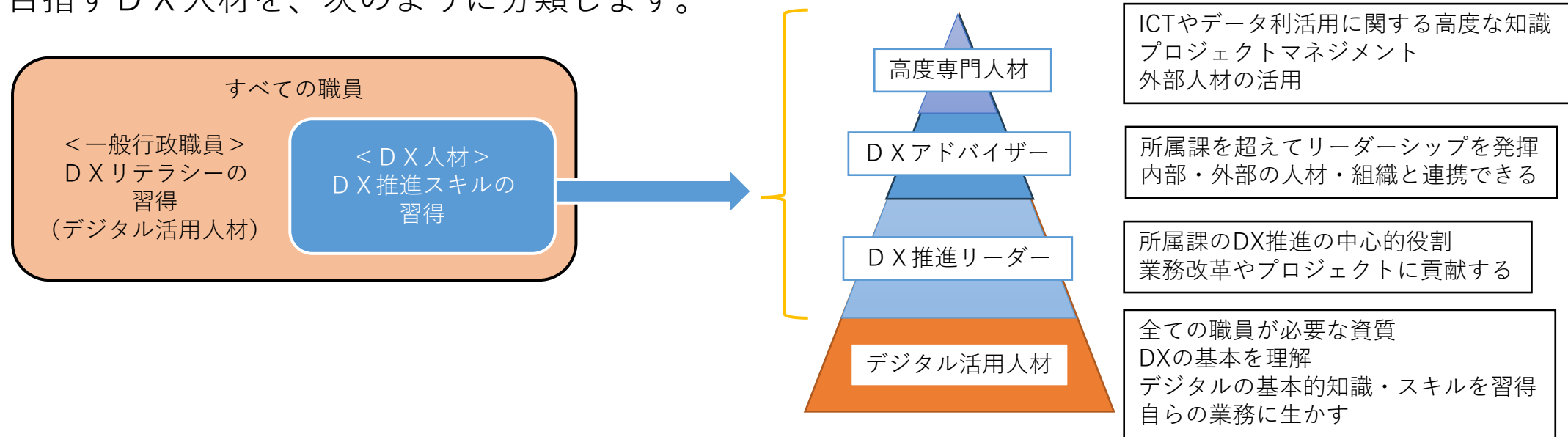
本方針に基づいて、次のような人材の育成を目指します。

- ・ 全職員が自治体DXに関する基本的な知識を有する。
- ・ 各課においてICTを活用した業務・サービスを企画し、簡易なものについては内製し、情報部門の協力を得ながら自らDXを推進できる。
- ・ 情報担当部署は、ICTに関する専門的な知識を有し、大規模プロジェクトをはじめ各部署におけるDXの推進を支援できる。



## 2-2 DX人材の類型

本町が目指すDX人材を、次のように分類します。



## 2-3 DX人材の育成方法

全ての職員をデジタル活用人材として育成するため、DXリテラシーの習得及び導入済みDXツールの利用方法の習得等に関する研修を、集合研修形式で行います。

また、自薦又は指名によりDX推進リーダーを育成しますが、その性格上、ITとDXに関する幅広い知識を身に付けるため、ITパスポートの受験を義務付けます。

加えて、DX推進リーダーの中から、より広い視点でDXを進めることのできるDXアドバイザーを育成します。

なお、高度専門人材については、DXアドバイザーの中からさらなる養成を図るとともに、外部人材の登用も選択肢の一つとします。

## 3 DX人材に求める役割・スキル

|          | 役割                                                                                                                                                                          | 思考                                                                                                                                                                              | スキル                                                                                                                                                             |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高度専門人材   | <ul style="list-style-type: none"> <li>組織の枠にとらわれずリーダーシップを発揮し、DXを推進する。</li> <li>DX推進に必要な人材を育成する。</li> <li>DXプロジェクトをマネジメントする。</li> <li>内製化を含めたICTの効果的な活用を図る。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>最先端のICTの動向を積極的に把握しようとする。</li> <li>専門知識を自治体DXに生かすことができる。</li> <li>自治体DXの将来像を描くことができる。</li> </ul>                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップ</li> <li>プロジェクトマネジメント</li> <li>EBPM</li> <li>ICTによる情報政策</li> <li>情報セキュリティ対策</li> <li>インシデント対応</li> </ul>         |
| DXアドバイザー | <ul style="list-style-type: none"> <li>所属課を超えて（主に所属部内で）リーダーシップを発揮する。</li> <li>DXプロジェクトを推進する。</li> <li>内部・外部の人材・組織と連携してDXを推進する。</li> <li>ICTを活用した業務・サービスの企画立案を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務のデジタル化を標準と考える。</li> <li>リーダーシップをもって変革を推進する意識を持つ。</li> <li>組織の現状の課題を、DXにより変革する必要性を感じる。</li> <li>簡単な仕組みであれば、自分でシステム構築したいと考える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進力</li> <li>BPR実践</li> <li>システム管理・開発</li> <li>インシデント対応</li> <li>マネジメント</li> <li>リーダーシップ</li> <li>ITパスポート合格</li> </ul> |
| DX推進リーダー | <ul style="list-style-type: none"> <li>現状業務をDXの視点から分析及び改善策の提案を行う。</li> <li>ノーコード・ローコードツールなどを積極的に利用する。</li> </ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務の改善の必要性を常に意識する。</li> <li>前例にとらわれず、新たなことにチャレンジする。</li> <li>ICTを用いた業務の効率化を積極的に考える。</li> </ul>                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>EBPM基礎</li> <li>データ理解</li> <li>BPR基礎</li> <li>デザイン思考・UX/UI</li> <li>システム企画調達</li> <li>AI活用</li> <li>ITパスポート受験</li> </ul> |

## 4 DX人材育成推進体制

自治体DXを計画的・効果的に推進するため、総務課行革・デジタル推進室においてDX人材育成のプログラムを企画し、展開します。

人材育成プログラムによる研修は、外部の専門家の意見を取り入れながら実施します。

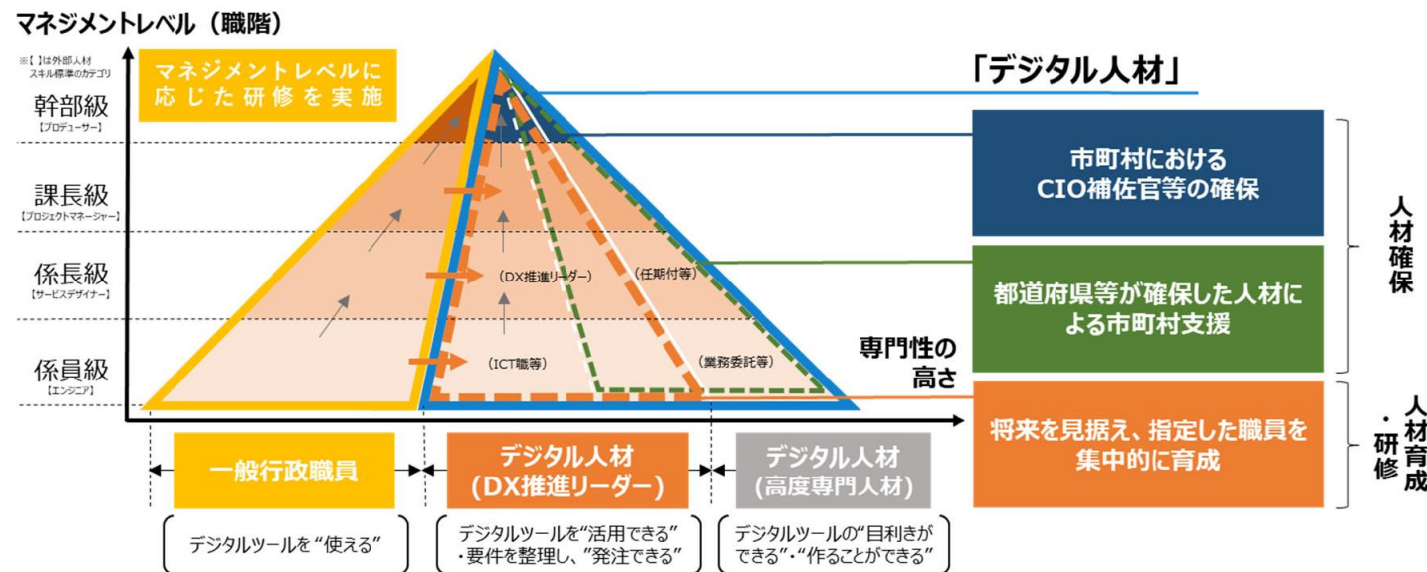
## 5 フォローアップ

DX推進リーダー及びDXアドバイザーを継続的に育成し、そのレベルアップとDX人材の増加を図ります。

具体的には、時代の変化に合わせた新しい視点やスキルを取り入れるため定期的に本方針や人材育成プログラムの内容を見直し、どの人材も継続的に受講できる工夫を行います。

また、DX推進リーダー及びDXアドバイザーには、本町のDXをけん引するため、先進的な取組に触れ、視野を広げる機会を設けます。

【市町村におけるデジタル人材確保・育成の全体像】



出典：自治体DX全体手順書【第2.1版】令和5年1月総務省